



8時間という長丁場の激闘を潜り抜け入賞を果たしたエントラントのみなさん。おめでとうございます。

Aクラス

順位	チーム	車両	周回数
1	TAKE OFF	JA11	331
2	DB RACING	JA71	319
3	リミット	JA11	316
4	INNO RACING	JA11	284
5	DB RACING	JA11	268
6	IMPS2	JA11	257
7	飛泥鹿	JA11	184
8	4WD PROJECT		175
9	APIO	JA11	119

Bクラス

順位	チーム	車両	周回数
1	DB RACING	JA11	346
2	KONDO AUTO	JA51	316
3	K-PRODUCTS	JB23	224
4	和田/和田/川北	JB23	224
5	IMPS	JB23	217
6	ジャンクション	JA51	4



Event Album 01

ジムニーサバイバル8HR耐久レース 抜きつ抜かれつの展開が8時間続いた

Event Data ■主催:NASC sandworks project事務局 ■開催日:2009年8月30日(日)
■開催場所:サントピアオフロードパークJランド ■レポート:NASC sandworks project事務局

今年からスタートした「ジムニーだけの耐久8時間レース」。このレースはドライバーの体力やマシンの性能が問われる真夏の8時間。コースレイアウトもジムニーの性能を引き出すために1/3はクロカンコースを設定し、サーキットレース+クロカンという様々なテクニックが試されるレースだ。ノーマルでの参加も可能なA、チューニングが自由なBの2クラスを設定。ドライバーは8名まで参加が可能で、見る側から参加する側へと誘うラリーになっている。

顔ぶれはオフロードレース関係者から海外ラリー参戦者、トライアル経験者など多くのカテゴリー経験者も参加。中には女性だけのチームもあり、前日の公式練習から各チームマシンセッティングを余念なく行っていた。

午前9時。横一線でのスタート。前半の2時間半は耐久レースとは思えないほどのハイペースでレースが展開された。ペースリーダーはIMPS関根選手。それに塙選手のマシンが追従する。この展開が一段落したころ、あちらこちらでマシントラブルが…。クロカンコースではマシンがスタックすると一気に大渋滞…。こ

こを抜け出すにはテクニックが必要な迂回路を選択することになるが、ココでもスタックのリスクが伴うため各車はメインコースを突き進む。この順番待ちで各車の差が肉迫した展開になった。レースは1回ピットインすると簡単に順位が入れ替わる状態。この抜きつ抜かれつの展開が8時間続きっぱなしという、ギャラリーにとっては見応えのあるレース展開になった。

優勝は小野/二階堂/塙チームが346周で獲得。2位は常連の近藤オートチームが316周。3位はKプロダクツチームの263周だった。ノーマルクラスの1位は331周とジムニーのポテンシャルの高さを実証する結果になった。来年は入門編のイベントとして年間2～3戦を計画。ご期待下さい!



参加された皆さんで記念撮影。来年もレースを計画しますので、ご期待下さい!



序盤、ハイペースでレースを引っ張っていた関根氏のJB23。Bクラスにエントリー。



ピットにクルマが入ってくると整備や給油、ドライバー交換に大忙し!



Bクラスで優勝を獲得したDB RACINGチーム。ダントツの周回数を記録しての優勝だ。



ノーマルクラスながら331周を走り切った藤城選手のJA51。ジムニーのポテンシャルの高さを実証した。



耐久レースのコースは斜面を利用して作成。ジムニーの性能を引き出すために1/3をクロカンコースに。